

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
31	ヤマザキ動物看護大学	適正飼養指導論	堀井 隆行 動物看護学部 講師 牛根 奈々 動物看護学部 講師	2	前期	木	15	16:30～18:00	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

1. 愛玩動物の飼養
 - 1) 愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する
 - 2) 愛玩動物飼養の現状について理解する
 - 3) 愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する
 - 4) 愛玩動物の飼養のニーズや目的を理解するとともに、グリーンケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を理解し、必要な支援について理解する
2. 適正飼養の推進
 - 1) 適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む）について理解する
 - 2) 動物取扱業者における適正飼養について理解する
 - 3) 愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する
 - 4) 問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する
3. 災害危機管理と支援
 - 1) 災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる
 - 2) 愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる
 - 3) 災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する
4. 動物愛護管理行政
 - 1) 飼い主指導の基盤として、公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - 2) 動物愛護週間の役割と実施状況について理解する
 - 3) 犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する
 - 4) 動物による事故の内容と報告状況について理解する
 - 5) 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割について理解する
 - 6) 動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する

【授業の概要】

愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。

【授業内容】

1. 愛玩動物の適正飼養のあり方と現状
2. 愛玩動物の飼養が人に及ぼす影響（利点と問題点）
3. ペットロスとグリーンケア（終末期の飼い主支援）
4. 適正飼養の推進活動
5. 動物取扱業者における適正飼養（過剰繁殖問題を含む）
6. 各種動物の適切な飼養方法等 1：適切な飼養方法としつけ、飼い主への指導の総論
7. 各種動物の適切な飼養方法等 2：イヌとネコの適正飼養
8. 各種動物の適切な飼養方法等 3：ウサギ、モルモット、フェレットの適正飼養
9. ポニーの適正飼養（ゲストスピーカー）
10. 同行避難と災害への備え
11. 災害獣医療と愛玩動物看護師の役割
12. 動物愛護管理行政① 公衆衛生業務と動物愛護週間
13. 動物愛護管理行政② 収容・処分・事故発生の現状
14. 動物愛護管理行政③ 保健所・動物愛護管理センター、動物愛護推進員・協議会の役割
15. 動物愛護管理行政④ 動物取扱業の登録・届出、動物取扱責任者の選任と役割

【成績評価方法】

定期試験（70%）・授業への参加度（30%）として総合的に評価する。

【教科書】

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10 巻 適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論』一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会
カリキュラム委員会 編 エデュワードプレス

【参考書、教材等】

必要に応じて随時紹介する。

※ この授業は、4/13（木）が初回です。